

第4号様式（第8条関係）

議 事 録

会議名	令和元年度第1回さむかわ男女共同参画プラン推進協議会		
開催日時	令和元年7月17日（木）午前10時00分～11時30分		
開催場所	寒川町役場東分庁舎第1会議室		
出席者名、欠席者名及び傍聴者数	<p>< 推進協議会 > 出席委員：木村会長、大関委員、奥委員、吉野委員、町田委員、落合委員、曾我委員、武藤委員、小山委員 欠席委員：橋本副会長、村田委員</p> <p>< 連絡会 > 出席委員：三橋総務課長、芹澤町民窓口課長、鈴木福祉部参事（兼）高齢介護課長、宮崎子育て支援課長、伊藤保育・青少年課長、亀井健康・スポーツ課長、原田産業振興課長、長岡教育総務課長、小島学校教育課長</p> <p>< 事務局 > 中島町民部長、池田協働文化推進課長、山本協働文化推進課主査、奥谷協働文化推進課主査</p> <p>< 傍聴者 > 2名</p>		
議 題	1 第4次さむかわ男女共同参画プラン平成30年度事業実績の評価について 2 第4次さむかわ男女共同参画プラン令和元年度事業計画について 3 「男女共同参画社会」に関するアンケート調査について		
決定事項	○会長に木村委員、副会長に橋本委員を選任。 ○今回の会議録承認委員に大関委員、奥委員を指名。		
公開又は非公開の別	公 開	非公開の場合その理由（一部非公開の場合を含む）	
議事の経過	1 開会 池田協働文化推進課長 2 委嘱状交付 本年度より2年の任期で全委員を新たに委嘱 3 あいさつ 木村町長 4 自己紹介 推進協議会委員、連絡会委員及び事務局職員自己紹介 ～木村町長 退席～ 5 会長・副会長の選出 委員の互選により、木村委員を会長に、橋本委員を副会長に選出。		

6 議事録承認委員の指名

承認委員は、会長を除いて委員の名簿順に輪番で務めることに決定する。

今回の承認委員に大関委員、奥委員を指名。

7 議題

(1) 「第4次さむかわ男女共同参画プラン」平成30年度事業実績の評価について(資料1・2)

協働文化推進課長 推進協議会の設置要綱第6条のとおり、これ以降の会議の進行は、議長である木村会長にお願いします。

木村会長 7番の議題(1)第4次さむかわ男女共同参画プラン平成30年度事業実績の評価について、事務局から説明をお願いします。

山本主査 事業実績状況評価について説明。平成30年度事業実績評価は、第4次さむかわ男女共同参画プランに基づき、平成30年度に実施した事業の実績と、各事業の自己評価を担当課で記入。協働文化推進課で取りまとめ、6月26日に開催した第1回さむかわ男女共同参画プラン連絡会(事業担当課長で組織された会議)で確認を行い、本日の推進協議会と連絡会との合同会議で、各事業について不明点など確認作業をしていただき、各委員から後ほど、4つの基本目標ごとの評価と意見を提出いただきます。次回の推進協議会で4つの基本目標ごとに総評をまとめ最終的に昨年度と同様の形式で公表していきます。

なお、4つの基本目標ごとに評価をいただく上で、各基本目標が計画の中でどの程度進んでいるのか、または遅れているかの部分について、どのように進めていくべきかなど、総合的な広い観点から、ご意見をお願いします。

資料3は、各事業の実施状況の概要で、基本目標ごとに達成度、今後の方向性を集計したものです。目標の達成度は、AからDの4段階とし、その考え方は、実績値が目標数値に達している事業はA評価の目標達成、目標数値に対し80%の実績値の事業をB評価、おおむね目標達成、目標数値に対し80%未満の実績値の事業をC評価、目標に向けて事業が遅れている、目標値に対し取り組むことができなかった事業に対してはD評価とし、目標に向け事業がほとんど進んでないとしています。今後の方向性については、1、さらに充実強化していく、2、計画どおり取り組む、3、一部見直しが必要、4、事業の休止または廃止として定めております。

平成30年度、各事業における目標の達成度は、全ての基本目標で、「A、目標達成」、今後の方向性は、「2計画どおり取り組む」の割合が、それぞれ高い結果となっています。

資料4の第4次さむかわ男女共同参画プラン平成30年度事業報告の色塗り部分は、各担当課が実施結果について入力。事業番号3女性委員の登用の推進では、目標の達成度A、B、C、Dについて、当初の目標値に対して対象年度の実績がどうであったかを評価し記載しております。指標である町審議会の

女性委員の登用率が平成30年度の目標が26%に対し、実績値が22%でしたので、目標値に対しての84%が実績値なので、おおむね目標達成のB評価となります。今後の方向性は、2計画どおり取り組むとしました。この達成度と、今後の方向性から自己評価をしております。また、実績の数値の報告はもちろん必要ですが、さらにその結果を踏まえ、何が問題なのか、目標を達成できなかった要因、何をすべきかの課題の記入が重要ではないかと考えております。

なお、今回お配りした資料4の別紙は、事業番号41中学生人権作文コンテストの実施の作品の内容の内訳になります。資料4の第4次男女共同参画プラン平成30年度の実績報告の基本目標1の評価内容から順に、確認をお願いします。

木村会長 事業数が多いので、基本目標ごとに評価内容の確認を進めていきたいと思っております。基本目標1、あらゆる分野での男女共同参画の推進。2ページ目から7ページ目まで、事業番号については1番から8番までです。何かご質問、あるいはご意見ありましたらお願いいたします。

奥 委員 事業番号1番について、現状というところで、男女隔たりなく総合評価による抜擢人事としていることから、女性の割合を引き上げることが難しい状況であると書かれています。女性職員の比率が低い年代であることからのというようなことも書かれています。例えば年代として見たときに55歳から60歳代というふうに年代で男女の役職別の比率を見たりすると、これは果たして平等なのかなというところがちょっと疑問に思ったところです。女性の人数が違うということで、比率が少ないというのはわかるのですが、例えば55歳から60歳の年代において、役職の分配というのは男女、果たして平等なのだろうかというところがちょっと疑問に思いました。神奈川県庁を実は調べてみたところ、男性は60%以上がグループリーダー級以上になっているのですけれども、女性は圧倒的に副主幹が多かったんですね。神奈川県庁でも公務員は男女平等だから、研修も平等に実施しているからということをするのですけれども、実際のところは、女性のほうが育児休業を取得していて、実際に職務から離れている期間であったり、また育児休業から復帰しても比較的早く帰れる職場を希望したりと、男性に比べて経験値が実は低いんですね。そうした中で、制度としては平等にあるのだけれども、女性に特化した研修というのもやはりやっていく必要があるのではないかなと思っております。今、評価の理由のところも、階層別研修については男女隔たりなく平等に受講を実施しておりと記載されているのですけれども、それで果たして目標値というのは達成できるのかなとちょっと疑問に思いました、その辺の状況をお伺いしたいと思しました。

木村会長 事業番号1ですので、総務課お願いいたします。

総務課長 まず、町の中で、ある年代で役職の割合というのが、ちょっと今手元に数字がありませんので、お示しができないのですけれども、男女平等、隔たりなく研修をやっているところに書い

てありますが、確かにおっしゃるとおり、現状を変えなければいけないので、女性に特化した、女性の能力を開発できるような研修等、そういったプログラムを考えなければいけないと思います。そういった手法が今とれているのかというと、なかなかとれておらず、なのでこういった表現になっておりますが、おっしゃるとおり、女性の活躍を広めるような形の研修等を考えなければいけないとは考えております。

経験値というお話が出ました。確かにそういうところ、あろうかと思えます。かなりの年数、出産に伴ってお休みされる、育休される方もいらっしゃると思いますので、そういったことがあるかと思えますので、今、基本的にお休みされている間は職場も異動しないとかということには基本的にはなっているのですけれども、そこもちょっと見直してもいいのではないかという話もありますので、なかなか完全には難しいかもしれませんが、休業による経験値を補足するようなことが、少しでもカバーできるような体制はとりたいとは考えております。

吉野委員 事業番号4番、5番が一緒なのかと思えますけど、この講座の参加人数というところで、昨年度の中の資料を見させていただくと、寒川の参加人数を表記すべきとのご意見がありましたので、それを受け寒川の参加者の人数が出ていると捉えられるのですが、ここの講座の参加人数の考え方というのは、寒川の町の人ではなくて、あくまでも講座全体の人数という考え方なのか、これは、寒川だけでも51人いっているんで、これは達成していると思うのですけれども、その考え方をちょっと確認させていただきたいと思えます。

木村会長 協働文化推進課、お願いいたします。

山本主査 こちらの人数の報告ですが、寒川だけではなく、全体の人数で報告しています。寒川町のプランですので、人数的には確かに寒川の参加人数がわからないというご意見があったので、そういう形で表記をさせていただいていますが、実績としては講座の参加者全体の人数を報告させていただいております。

木村会長 ほかに質問、ご意見ありましたらお願いいたします。

ないようですので、次、基本目標2に移ります。事業番号は9番から18番までです。評価内容の確認に入ります。ご質問のある方、ご質問、ご意見ありましたらご発言お願いいたします。

続いて基本目標3、事業番号は19から33番です。仕事と生活の調和（ワークライフバランス）推進のための環境づくり。事業番号19番から33番までについて、質問、ご意見ありましたらお願いいたします。

では、ないようですので、基本目標4に入ります。男女共同参画社会促進のための意識づくり。事業番号は34番から41番までです。この評価内容の確認に入ります。ご質問、ご意見等ありましたらお願いいたします。

吉野委員 34番、同講座に対して評価のところ、アンケート結果から満足度の高い講演会となったというふうになっているのですが、このアンケートの結果を資料として要求し見ることはでき

ますか。

木村会長 では、協働文化推進課お願いいたします。

山本主査 アンケート結果については、お出しすることはできます。

吉野委員 わかりました。

木村会長 そのほか、基本目標4について、ご質問、ご意見のある方はいらっしゃいますか。ないようですので、質疑についてはこの辺で終了いたします。

では、基本目標1から4の評価内容の確認を終了いたします。ただいまご確認いただいた内容を踏まえて、委員の皆様には別紙の意見記入用紙にご記入をお願いいたします。この用紙の提出については、事務局から説明がございます。

山本主査 本日机上配付した記入用紙が基本目標ごとになっているので、事業に対するご意見や総評等をご記入いただいて、8月9日金曜日までに事務局へご提出をお願いいたします。提出方法は、ファクス、メール、郵送、直接、いずれかの方法でお願いいたします。実績評価をまとめ、公表を行いますので、意見等のご提出よろしくをお願いいたします。

木村会長 では、8月9日金曜日までにご提出をよろしくをお願いいたします。

それでは議題の(2)に移ります。第4次さむかわ男女共同参画プラン令和元年度の事業計画についてに移ります。事務局より説明をお願いいたします。

山本主査 令和元年度の事業計画は、資料5のとおりです。3月開催の平成30年度第3回さむかわ男女共同参画プラン推進協議会で、ご報告をしておりますので、説明は省略しますが、会議の中でご意見やご要望をいただいた部分を連絡会で各担当課の課長に報告し、回答をまとめたものが資料6になります。新年度に入り、既に担当課で事業に取り組んでおりますが、いただいた評価の中で、すぐに取り組むことができる案件がありましたら、少しでも目標の達成に向け取り組んでまいりたいと思っております。また、各事業担当課とも連携を図ってまいりたいと思っております。

いただいたご意見の中では、指標、目標値について、各事業の指標、目標数値が参加者数や開催数、満足度など統一されていない。回数ではなく人数で捉えていくべきではないかというご意見がありましたので、指標については事業の実施指標となっているものや、事業の成果指標となっているものが混在しているので、第5次プランの策定時に検討していきたいと考えております。そのほかの各事業ご意見に対する担当課回答は、資料のとおりです。令和元年度の事業計画に対する推進協議会の意見等に対する回答は以上です。

木村会長 資料5、資料6、令和元年度事業計画について、何かご質問、ご意見ありますでしょうか。

奥委員 資料5の事業番号30番、介護教室の開催ですが、今、企業などでも介護離職といった問題なども出てきているかと思っております。30年度の実施状況を見たところ、平日の開催が多かったように思うのですけれども、こちらは働く人にも配慮して、土

日の開催日を入れていただいてもいいのではないかと考えたのですが、いかがでしょうか。

高齢介護課長 介護教室につきましては、昨年度参加人数が少なく、検討しなければならないというところで、担当者と協議をしております。今、委員からお話しいただきましたとおり、土日の開催というところで、またこれとは別に認知症サポーター講座みたいなものも、土日で昨年度については変更して開催をした経過がございます。介護教室につきましても、そのような形でできるのではないかと思うので、日程等につきましては、こちらのほう、実施日の予定に書いてありますとおり、11月、また認知症の高齢者介護教室につきましても、今現在は未定という中で、年度内の開催について、土日の開催につきましても検討させていただきたいと思っております。ありがとうございます。

木村会長 ありがとうございます。ほかにご質問、ご意見はありますか。よろしいでしょうか。

では、議題（2）第4次さむかわ男女共同参画プラン令和元年度事業計画については終了いたします。続きまして議題

（3）男女共同参画社会に関するアンケート調査について、事務局より説明をお願いいたします。

山本主査 第4次プランが平成27年度から令和2年度までの5カ年計画なので、来年度が計画期間終了となります。新たなプラン策定に向け、計画を進める必要があるため、今年度アンケート調査を実施します。前回の改訂時もアンケート調査を実施しておりますので、同様の形で実施したいと考えております。資料7はアンケート調査の概要です。調査の目的は、プランの改訂に当たり、男女共同参画社会に関する住民の意識調査を行い、現状を把握するために実施します。調査方法は郵送による配布、郵送による回収。調査対象者は町内在住の満20歳以上の男女1,000人。抽出方法は無作為抽出、ただし男女同数とします。調査期間は、8月から9月を予定。先日の連絡会でもアンケート調査票について確認しております。本日の推進協議でも内容を確認し、ご意見等をいただきまして実施していきます。

また、町がインターネット配信をしたアンケート調査に、パソコンや、スマートフォン等で回答できる登録モニターも活用した、寒川町eマーケティングリサーチ制度もあわせて利用していきたいと考えております。

資料8がアンケート調査票の案となります。資料9-1は前回のアンケート調査票となっており、基本的には意識の経年変化を見ているので、調査項目は前回とほぼ同じものとなっております。アンケート調査票について説明します。

問1性別で前回は男女だけでしたが、性的マイノリティーにも配慮し、「3選べない」という部分を追加しました。問2年代、問3家族構成、問4就業形態、問5女性が職業を持つことに対する考え方について、特に変更はありません。問6、女性が仕事を続けていくことに対して何が必要かの設問で回答項目に「ク.男性側の理解と協力」1つ加えました。理由は、男女共

同参画の観点から、女性のみ限定せず、男性の考え方も選択肢として追加するためです。問7女性の再就職には何が必要かについて、いろいろな項目を設定。問8ワークライフバランスについてので選択肢で、以前の選択肢は、3が聞いたことはなく、内容も知らないでしたが、今回は「知らない」に変更しております。問9理想と現実ということで、それぞれの仕事と家庭生活、地域、個人の生活、いわゆるワークライフバランスとのかかわり方の理想と現実の差をこちらの設問で確認します。問10男女平等ということで、今現在いろいろな場面で男女の不平等感だという意識があるか、感覚があるかということを設定にしています。問11女性の参画や女性の能力、活躍促進が進んでいるか、さまざまな場面で意識を確認。前回の調査では、選択肢の6番目に「わからない」が含まれていましたが、今回は「わからない」を削除しております。問12暴力に関する質問で、セクハラ、パワハラ、DVについての質問をしております。今回から、セクハラを指摘されたことがある、パワハラを指摘されたことがある、DVを指摘されたことがあるという項目を追加しております。問13それぞれの男女共同参画に必要な施策について、このようなものが必要だということの意識の質問となっています。問14町に対して望む施策は何かという設問、問15は男女共同参画社会に向けての自由意見欄となります。

なお、前回の調査結果は資料9-2とおります。

木村会長 男女共同参画社会に関するアンケート調査について、質問、ご意見ありましたらお願いいたします。

吉野委員 20歳以上の無作為抽出という形ですけれども、この平成27年度のアンケートの集計結果を見ると、かなりやはり年齢層が高い人たちのパーセントが多いという形の、結局は送られてきた人が多いのか、だけど、送った人数が20代何人というところまでの把握をされているのかどうか。もしそれが、分母がないと、たまたま送っている人たちが年齢層が高い人たちのところに行っているかもしれないという、その辺の部分で、例えば、均等で無作為抽出にしても20代は何名というような均等を出しておいて、それで返ってきた回答がこんなバランスというところであれば、見られると思うのですけれども、その辺の、結果的には多分高齢の方たちが回答する方は多いというのは見えるのですが、この結果と、送り出した、最初の部分がわからないので、その辺はどのように捉えているのか伺いたいです。

協働文化推進課長 実際、27年度の調査を見ますと、20歳以上という条件しかクリアしていませんで、その上については、単純抽出です。全部で2、3、4、5、6、7と10飛びに切って何パーセントずつという送り方はしていないようです。確かにおっしゃるとおり、高齢の方のほうがお時間もあるということもあるのですが、まめにリアクションを返してくれる関係から、どうしてもまとめといたしますと高齢の方のご意見が目立ってきてしまうというような面もあろうかと思っております。今回の

抽出に関しましては、ご意見を受けとめまして、やり方を考えてみたいと思います。ありがとうございます。

木村会長 ほかにご質問、ご意見ありましたらお願いいたします。

すみません、議長からよろしいですか。資料を拝見したのですが、アンケート集計結果の一番最後に、自由記述の幾つかページ分を見たのですが、投稿を読んでいくと、平成27年に行ったアンケートと、ほぼ同様のアンケートをお送りしていいのだろうか。経年変化と先ほどおっしゃいましたが、多分、それほど大きな意識の違いはここでは出てこないのではないかと思います。大体結果がほぼわかっているアンケートをここでもう一回やる意義があるのかなというのが1つ。

それから、アンケートをして、ではその次に何をするかというのも大切だと思うのですが、例えば5年前にアンケートをして、大分、女性に限らないのですが、働きやすくなりましたとか、そういうのが返ってくればいいのですが、そういう実感がなく、またもう一回ここでアンケートですといったときに、どうなのだろうかというのを感じました。

質問みたいな、意見みたいになってしまうのですが、ここでこの全く同じアンケートをする意義はどこなのだろうかというのを感じます。

協働文化推進課長 おっしゃることも一理あるかと思いますが、本当に同じ結果になるかどうかを私どもも知りたいという感じなところでもあります。この5年で私の認識といたしましては、アンケートの項目も若干社会情勢を反映したのものとして変わってきているように、変わりがあるんじゃないかと私個人としては思っております。今、よく言われているLGBTの問題をはじめとして、いろいろな性差をめぐる問題というのが5年前よりはクローズアップされているのではないかと。その部分について掘り起こしをしたいんだというのが今回の考え方でございます。着地点がわかっているんじゃないかというご指摘でございますけれども、決してこんなふうになるはずだから、この質問でいこうというような意図的なところで組んでいる部分ではないということは、ちょっとご理解いただきたいと思います。

木村会長 はい。ありがとうございます。ほかに質問、ご意見ありましたらお願いいたします。

曾我委員 アンケート全体が女性がという質問が非常に多くて、例えば男性に、例えば育児休業を認めるとか、そういう質問項目を加えるという考えはありますか。

山本主査 特に女性だというだけに限らず、男性がというのを加えても問題はございません。ご意見をいただいたので、内容についてもう一度検討したいと思います。

木村会長 ありがとうございます。ほかにご質問、ご意見ありましたらお願いします。

吉野委員 私もこの最後の意見のところを読ませていただいたら、本当に多岐にわたっていて、すごくこのアンケートのただの集計の結果以上に、この後ろの意見がすごいと思って理解しました。私は、この中で言っていました、理想と現実。今の理想と思っ

ていることと、現実がどれだけ次のアンケートで近づくのかというのを私は期待みたいなものがちょっと見えたら、少しずつだけ変わっていているのかなというのを、これが一番何かこのアンケートの中で見ていて、少し評価として全体の分で見える部分になってくるのかなというふうになんかと思ったので、ある意味、この自由記述で書いたことをどうやっぱり次のアンケートの中に入れていくかということが、すごく課題なのかなとも思いました。なので、そこだけ意見を言わせていただきました。

木村会長 では、議題3 男女共同参画社会に関するアンケート調査については終了いたします。

引き続き、次第の8番。その他に移ります。委員の皆様から何かございますでしょうか。

大関委員 今回新しく変わりました、多分ここに来られている方、ほとんどこの男女参画の会議は何をやるところなのかということも知らないし、それでどういう流れでやっているかということもやってみんなわかっていないと思うんです。それで、多分聞いていておもしろくないと思うんですね。その中で、やはりこういう時間で初めての方が、今回なんかは特にね、奥さんのように、男女、神奈川の共同参画センターにいらっしゃるじゃないですか。いろいろなところで、フリートークをちょっとここでしてもらって、委員さんがどんな考えで男女参画というのを考えているのかということをお話して、それでこの中でどういうふうな考えの中で話し合っていくんだよって、今後を決めていくのもおもしろいんじゃないかなと思うんですね。

本当、事務方のほうで言われたまま、こうやって、意見ありますか、ありませんと、これ、毎回、もう自分は3回4回出ているんですけども、毎回同じことの繰り返しなんですね。多少は変わっているんですけども、やっぱり何もおもしろみがなくて、来ていて、何のために来ているのというところも出てきちゃったりするんで、やはりこういうところで意見を言えるとか、いろんな考え方を言えることがあると、さっき吉野さんなんかちょっと、来年もし変わったらわくわくするわよという話はあったと思うのですけれども、そういうわくわくする会議にしていきたいなと思うのですね。だから、やっぱりフリートークとか、そういうのができたらいいんじゃないかなと思うのですが、いかがでしょうか。

木村会長 今、フリートークができたらいかがというご提案がありましたけれども、いかがでしょうか。

協働文化推進課長 ご提案ありがとうございます。まず前段の会議の内容の目的等につきましては、新しい委員の方には別にお時間をとらせていただきましてご説明させていただいた次第でございます。

なお、フリートークの部分につきましては、非常によい提案ではないかと事務局のほうも考えております。ただ、形といたしまして、どのような形で持っていくかをちょっと会長とご相談しながら会議の中で、どうその時間を持っていくかという話

になってくるかと思うのですが、その他の中で、例えばこのままフリートークへ入るような形もとれるかと思うのですが、ちょっとそのあたりを次回の会議に向けまして事務局と会長、副会長とご相談させていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

木村会長 はい。では今日この場ではなくて、次回の会議から……。

大関委員 ちょっとでも声を出してもらったほうがいいのではないですか。

吉野委員 今度、8月9日までに皆さんが提出する個別意見がありますが、前回の報告書を見たら、それぞれいろいろな考えを、多分全部羅列するのですよね。

山本主査 はい、そうです。

吉野委員 おそらくこれが多分いろんな1つの物の捉え方でも、多分意見出された方はすごく違うと思うんです。なのでそこが、自分はこの形を出しているみたいなのがきっかけで、今回のこの報告ですかね、意見を出したものでやったら、それぞれが出している、ただ報告で出されたものの書面とは違う、書面ではない思いみたいなものが伝わってすごくいい、実は題材かなとちょっと思ったものですから、その意見がそれぞれ違っておもしろいなと私も思って。もしあれでしたら、ちょっときっかけに、新しく私になったので、こういう思いで私たちはというのを意見で出されたらいいかなというふうにちょっと思いました。

木村会長 こういう思いでというのは、8月9日までに出すこの中に？

吉野委員 提出された意見を受けて、その後フリートークみたいな形にしたら、それはそれで多分間に合わない部分だと思うので。そうすると何か題材があったほうがトークする部分もいいかもしれないと思うのですけれども。

木村会長 はい、ほかにいかがでしょうか。こんな形という提案がありましたらお願いします。そうしましたら、8月9日までに個別の記入用紙に出していただいて、それを集約していただいたものを事前にお送りいただきますよね

協働文化推進課長 次回の会議の資料として、集約したものを昨年も送らせていただいておりますので、今年もそのような形で送らせていただこうと考えております。

木村会長 この事業とかに関係なく男女共同参画ということについての皆さんの考えとかお気持ちなんかを次の会議のときにフリーでいろいろ出していただくという形でもよろしいですか。

それでは、そのような形で次回の会議は持ちたいと思いますが、今ここでどうしてもちょっと言いたいことがありますという方はいらっしゃいましたらお願いいたします。では、次回そのように進めさせていただきます。ほかにないようでしたら事務局からお願いいたします。

山本主査 次回の会議では皆さんからご提出いただいたものを、基本目標ごとに事務局で取りまとめ、ご審議いただき、公表につなげていきたいと考えております。

なお、第3回の会議は3月の開催を予定し、内容は令和2年

	<p>度事業計画についてとなります。</p> <p>木村会長 それでは、これで本日の日程を終了といたします。進行を事務局にお返しいたします。</p> <p>協働文化推進課長 会長、議事進行、大変お疲れさまでございました。委員の皆様におかれましては、長時間に及ぶご審議、また大変貴重なご意見も多々いただきました。感謝申し上げる次第でございます。本日の会議はこれにて終了とさせていただきます。ありがとうございました。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ○資料1 さむかわ男女共同参画プラン推進協議会・連絡会委員名簿 ○資料2 さむかわ男女共同参画プラン推進協議会設置要綱 ○資料3 第4次さむかわ男女共同参画プラン事業実施状況の概要（平成30年度実績） ○資料4 第4次さむかわ男女共同参画プラン平成30年度事業実績報告 ○資料5 第4次さむかわ男女共同参画プラン実施計画令和元年度事業計画 ○資料6 令和元年度事業計画に対するさむかわ男女共同参画プラン推進協議会の意見等 ○資料7 「男女共同参画社会」に関するアンケート調査（概要） ○資料8 「男女共同参画社会」に関する調査票（案） ○資料9-1 「男女共同参画社会」に関するアンケート調査票（平成27年度5月実施分） ○資料9-2 「男女共同参画社会」に関するアンケート調査集計結果（平成27年度） ○（参考資料）第4次さむかわ男女共同参画プラン平成29年度事業実績報告
<p>議事録承認委員及び 議事録確定年月日</p>	<p>・大関委員 ・奥委員</p> <p style="text-align: right;">（令和元年9月20日確定）</p>